

令和2年度 教科等別授業改善推進プラン

武蔵村山市立第二小学校 第3学年

教科等	(1)児童の実態から 特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫 ※学力向上の具体的な手だてを示す
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述を基に、登場人物の心情を想像したり、出来事の展開や場面の様子を捉えたりする力を付ける。 ・ 作文などの表記方法を理解し、話のまとまりである段落を意識して、書くことができる力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返し正しく音読し、内容を理解させる。また、心情を表す言葉に気を付けて読んだり、段落を意識して文章のまとまりを捉えたりさせる。 ・ 原稿用紙の使い方・書き方などをその都度指導し、徹底させる。(テキスト「うつしまる」活用) 始め、中、終わりの組み立てを意識させる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特徴に関心をもち、地域社会に対する誇りと愛情を育てる。 ・ 自分との関わりを考え、その社会的事象の意味を考える力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に体験する活動を多く取り入れることで意欲付けを行う。 ・ 身の回りのものと理解させたい社会的事象を、結び付けて指導するようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決に意欲的に取り組み、問題を解く過程をノートに記録しようとする態度を育てる。 ・ 四則計算を、正確に素早くできる力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自力解決の時間と全体共有の時間のメリハリをつけ、ノートを書く時間を確保する。 ・ 授業や家庭学習で基本的な計算問題を繰り返し、習熟させる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物と関わる体験を通して、愛護する態度や、現象についてすすんで調べ、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 ・ 自然の事物・現象(光、電気、磁石、太陽、影)の性質や特徴について調べた結果を基に考察し、自分の言葉で説明する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物と関わる体験活動を十分に行い、疑問に感じたことをすすんで解決しようとする態度を養う。実験は予想を十分に行い、意欲を高め問題意識をもち取り組ませる。 ・ 観察や実験の際は、色・形・大きさ・数・手触り・つくりや様子の差異点や共通点など、比べる視点をもたせ、友達の発見と自分の発見も比較しながら、考察させる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ すすんで音楽に関わり、協働して活動する態度を育てる。 ・ 曲のよさや美しさを見出して聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わらべ歌遊びやリズム遊びで音楽の楽しさに触れ合わせる。 ・ 音楽の要素を聞き取る、主な旋律を口ずさんだり、拍に合わせて指揮や身体表現をしたりする等の活動を行わせる。感じたことをノートにまとめさせる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いを膨らませることを楽しみ、すすんで表現する。 ・ テーマや材料、用具などから想像を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい形や色などを思い付きながら、興味・関心を高められるよう取り組みを支援する。 ・ 感じたことや思いと、目の前にある材料や用具の両方から自由に発想する体験をさせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ きまりを守り、互いに協力し合いながら運動に取り組む態度を身に付けさせる。 ・ 健康で規則正しい生活を送ることの大切さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動の課題を個々に意識させ、休み時間の外遊びにすすんで参加する態度を身に付けさせると共に、運動の楽しさを感じさせる活動を十分に取り入れる。 ・ 自分の生活を見直したり、養護教諭と連携して生活習慣の大切さを考えさせたりする。
特別の 教科道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過ちは素直に認め、正直で明るい心で生活する態度を養う。 ・ 相手のことを思いやり、すすんで親切にする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や生活の中で、自分を振り返り、どのような態度が望ましいか考える時間を確保する。 ・ 授業で学んだ道徳的価値を学校生活で生かせる場を設定し、相手を思いやる学級風土をつくる。
英語 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に伝えようとする力を高める。 ・ 文化に対する関心・意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュカード等を活用し、英語に多く触れ、A L T や子供同士で学習した表現でやり取りする。 ・ A L T から外国の文化や日本との違いを聞き、外国の文化に対する関心・意欲を高める。
総合的な学習 の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を見出し、様々な方法を使って課題を解決する力を育てる。 ・ 調べたことを分かりやすくまとめ、伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎となる情報を与え、予想したり調べたりする活動を設定し、探究しようとする態度を伸ばす。 ・ 各教科で学んだまとめ方や発表方法を活用し、課題に応じた表現方法を選択できるようにする。
学級 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 責任をもって仕事を行い、協力しようとする態度を育てる。 ・ 違いを認め合い、協力して問題を解決しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当番や係活動で役割をもち責任感や自尊感情を高め、すすんで学級をよりよくする態度を育てる。 ・ トラブルや意見の不一致を成長の機会と捉え、丁寧に話し合い活動を行うことで様々な立場から物事を見つめる態度を育てる。

